



# governor's monthly letter

to Rotary club presidents and secretaries

6

一粒でもいい  
幸せの種をまく  
あなたの手を  
レンドアハンド



## ガバナー月信 Vol.12 目次

挿絵：高橋 房雄

2. ガバナーメッセージ
3. 地区協議会報告
4. 第8回茶の湯研修会体験談
5. 米山奨学生オリエンテーション報告
6. ロータリーの森植樹事業報告
7. 2003-2004年度 国際大会（関西）報告
- 8-11. 会員増強・退会防止委員会より
12. 新会員紹介/Spouse通信/文庫通信
13. 出席報告/6月の予定

国際ロータリー第2840地区  
2003-2004年度  
ガバナー 森田均  
〒377-0007 群馬県渋川市石原144-1  
(協) 渋川電気センタービル2F  
TEL. 0279-30-2840 FAX. 0279-30-2841  
E-mail: morita@rid2840.net  
<http://www.rid2840.net>

## 「皆で魅力ある21世紀のロータリー作りを」

国際ロータリー第2840地区  
ガバナー 森田 均

ガバナーメッセージも、いよいよ最終の12回を迎えることになりました。

1年間、お読み頂きありがとうございました。心から感謝申し上げます。

拙文ではありましたが、現実的なまた具体的な問題について、判りやすくお話するように心掛けてきたつもりです。

その最終的な評価は、地区内ロータリアン諸兄にお任せしたいと思います。

さてご案内のようにロータリーは、2005年2月23日に100周年を迎えることになっており、それゆえ、次年度のRIテーマは、「CELEBRATE ROTARY ロータリーを祝おう」というものです。

なるほどロータリーは、この100年の間に驚異的發展を遂げましたが、一方で組織は肥大化し、多くの課題を生み出していることもまた事実です。

そこで100年目の今、私たちは、ただ祝うばかりではなく、次なる100年に向けてロータリーはいかにあるべきか言葉をかえていけば21世紀の魅力あるロータリー作りについて、原点に返りあるいは基本に戻って、真剣に考えてみるべきではないか、と考えます。

なおすでに地区内の一部のクラブでは、「21世紀委員会」、「21世紀ビジョン委員会」などという特別委員会を設置して、前向きにこの問題に取り組んで頂いており、心強いものがあります。

最近、ロータリーには魅力がないと言われていました。

「ロータリーは楽しくない」、「ロータリーは為にならない」、「ロータリーの奉仕が見えてこない」さらに「ロータリーにはステータスがない」などがこれです。

そしてこの魅力のなさが、会員の、経済的理由の影に隠れた真の退会理由になってはいないでしょうか。

あえて繰り返します。私たちは、今この時こそ、再び魅力あるそして21世紀におけるアップツーデイトなロータリー作りを目指し、創意と工夫と情熱とさらには「思いやりの心」をもって挑戦して行くべきです。

さあ皆さん、ロータリーの明日のために、そして私たちロータリアンの明日のために、一緒にがんばりましょう。

## 「2004 - 05年度 地区協議会報告」

国際ロータリー第2840地区  
地区幹事 佐藤 修

5月8日(土)2004 - 05年度地区協議会が高崎東ロータリークラブのホスト、高崎南ロータリークラブのコ・ホストでグランドパティオ高崎にて開催されました。地区内47クラブから会長エレクト・次期幹事、各委員長予定者、地区からは森田ガバナー、山崎ガバナーエレクト、高木研修リーダーをはじめ地区役員など約600名の参加がありました。

午前中の全体会議では森田ガバナーの点鐘、挨拶があり、高木貞一郎研修リーダーの協議会の目的についての講話を頂きました。分科会は午前、午後で2時間半にわたり開催されました。第一分科会(会長、幹事、クラブ奉仕部会)では、冒頭でガバナーエレクトより次年度地区予算の提案が行われ会長エレクトに承認を求め可決、承認を頂きました。その後、次年度地区運営、クラブ運営について熱心に討議されました。第二分科会(職業奉仕)では重田パストガバナーのパワーポイントを使った説明があり、アンケート結果に基づいた討議、委員会方針の説明がありました。第三分科会(社会奉仕)、第四分科会(国際奉仕・ロータリー財団)、第五分科会(新世代奉仕)、第六分科会(米山奨学)では各地区委員長がリーダーとなり、活発な討議がなされました。また、午後には幹事部会が行われ、高木研修リーダー、吉野パストガバナーより各種説明がありました。全体会議では、各分科会リーダーより会議報告が行われ、高木研修リーダーの総評を頂きました。地区大会PR、次年度地区協議会ホスト(前橋東RC)挨拶がありました。懇親会にも多くの参加者が残り仲間との対話で盛り上がりました。ショウヘイ氏のジャズ演奏も好評でした。

森田ガバナー、高木研修リーダーのご指導のもと、地区役員各位にご協力を頂き、山崎年度の事業がスタート出来ました。参加した47クラブの会長エレクト、次期幹事の皆様と協力しあい、2004 - 05年度の地区、クラブでのロータリー活動、奉仕と友情の輪を広げていきたいと思っております。RIテーマの「ロータリーを祝おう」、2840地区テーマ「新たな100年に向けて・・・基本にもどろう!」を地区内のロータリアンと共有しての事業年度が最良の形でスタートしました。今後とも、ご指導ご協力をお願いします。

最後にホストクラブの高崎東ロータリークラブの皆様にご感謝し、地区協議会の報告と致します。



## 「国際ロータリー第2840地区茶の湯研修会体験談」

森田ガバナー事務所  
事務局員 小野瑞穂

去る5月9日(日)、子持村ふれあい公園内茶室にて「国際ロータリー第2840地区茶の湯倶楽部 第8回研修茶会」が開催されました。今回、ガバナー事務所事務局員としてその体験談を少しお話させていただきます。

当地区茶の湯倶楽部研修会は、年2回開催されており、今年も今回で2回目。森田ガバナー年度の最後の研修会になりました。定員30名のところ、33名とたくさんのご参加を頂きありがとうございました。

裏千家 岸宗美先生と森田ガバナーにご指導戴きながら、3班に分かれての研修会でした。にじり口からお茶室に入ると床の間に「城春草木深」のお軸が。このお軸は、昨年10月に開催された当地区 地区大会で「二本の手」を講演して下さった、中尊寺貫首 千田孝信師のご染筆です。その際にガバナーからお願いされ、筆をとっていただいたのだそうです。

「城春草木深」のお軸に「兜」のお棗、「五月雨」銘のお茶杓、茶室からのぞく庭園、そしてこの取り合わせに合わせたかのように折しも降り出した五月雨。

「みちのく」の様々な景色が浮かびあがってきます。

茶室が公園内にあったので、研修会の終られた方は緑鮮やかな園内を散歩されたり、同敷地内にある天然温泉に入られたり、穏やかな一日を過ごしていただけたのではないのでしょうか。

「お茶は堅苦しい」「作法がわからない」などといったご意見もおありかと思えます。確かに、「マナー」だとか「決まりごと」というものはありますが、実際に研修会に参加してみると和気あいあいとした中で楽しみながらお茶をいただくことができました。今回お越し頂いた方の中にも「楽しかった、また是非次回も参加したい」とおっしゃって帰られた方もおられます。

普段から多忙な日々を過ごされていらっしゃるロータリアンの皆様、日常世界からちょっと抜け出して、非日常の空間を味わわれてはいかがでしょうか。



～委員会報告～

## 「2004学年度 新規米山奨学生オリエンテーション報告」

日時 2004年5月16日(日) 11:30～15:00

会場 前橋東急イン

出席者 森田均ガバナー、高木貞一郎米山記念奨学会理事、仙田一夫地区幹事  
戸鹿野栄一地区副幹事、野辺昌弘米山奨学委員会大委員長、堀口靖之米山奨学委員会小委員長  
金子吉志米山奨学委員会委員、  
オブザーバー：佐藤修地区幹事、川口修平次年度米山担当地区副幹事  
大路潔江学友会会長  
受入クラブカウンセラー、新規米山奨学生

### 受入クラブ名

前橋西RC	桐生RC	桐生南RC	群馬境RC	桐生赤城RC
高崎RC	高崎南RC	高崎北RC	高崎東RC	館林RC(2名)
太田南RC	館林ミレニアムRC	渋川RC	沼田RC	
沼田中央RC	渋川みどりRC	富岡RC		

### 報告

司会進行 地区副幹事 戸鹿野栄一

12:00～13:00	昼食		
13:00	開会		
13:00～13:10	挨拶及び役員紹介	米山奨学大委員長	野辺 昌弘
13:10～13:20	ガバナー挨拶	ガバナー	森田 均
13:20～13:30	米山奨学生学友会について	学友会会長	大路 潔江
13:30～14:10	米山記念奨学会事業及び奨学生の心得とカウンセラーの方へお願い	米山記念奨学会理事	高木貞一郎
14:10～14:15	新規米山奨学生代表挨拶	奨学生代表	曲 陸 丹
14:15～14:20	カウンセラー体験発表	カウンセラー	横山 公一
14:20～14:40	質疑応答		
14:40～14:50	確約書記入・署名	米山奨学大委員長	野辺 昌弘
14:50～15:00	奨学金4月・5月分交付	米山記念奨学会理事	高木貞一郎
15:00	閉会		



## 「ロータリーの森植樹事業報告」

主管 沼田中央ロータリークラブ  
クラブ幹事 小林 龍志

開催日 2004年5月16日(日) 8:30～  
場所 県立森林公園「21世紀の森」  
参加者 地区内35クラブ約200名

大雨の降る悪天候にもかかわらず、地区内ロータリークラブより多数の参加を頂き、第4回「ロータリーの森づくり」を開催することができました。今回、この事業報告を写真とともに振り返ってみたいと思います。

今回の大山桜を植えた場所は従来のエリアの一段高いところとなりました。後方低い地点に以前植えたもみじと大山桜が整然と立っています。好評のネームプレートバックに記念撮影 ネームプレート3～4年認識できます。



ボーイスカウト沼田第1団の隊員たちは水芭蕉を植えてくれました。彼らがまたここを訪れるそう遠くない日には水芭蕉も根付くことでしょう。子供たちの手前には2年前と3年前に植えた水芭蕉がみずみずしく育っています。大きめの水芭蕉になると50cmは根を張っていることと思われます。こうなればしめたものです。

「ロータリーの森・植樹計画」はほぼ達成できましたので区切りとして、「ロータリーの森」活用事例として森の中のバーベキューパーティーで祝いたいと考えてみましたが防火の観点からやむなくふもとに下りての完成パーティーとなった次第です。



私たちはこれから「ロータリーの森」の活用が様々な奉仕活動につながるように考えていくスタート地点に立ったと認識しています

出来上がったこの素晴らしいフィールドをたとえば子供たちに「自然を大切にするエコツアー写生大会」、成人には「森をテーマに写真大会」、春の花々をロータリアンとともに楽しんでもらったり、秋の森は自然観察ワークショップを開催したり...自然を大切にする様々な活用アイデアが満ち溢れている、この「ロータリーの森」をこれからも大切にしていかなければならないと思います。社会奉仕の始まりです！！



## 「2003 - 2004年度 国際大会（関西）報告」

国際ロータリー第2840地区

広報・オンツアー大阪委員長 富澤 勝美

第95回国際大会（関西）が5月22日から26日まで「世界のロータリアンと関西で会おう！」のスローガンのもと、大阪・神戸・京都を中心に史上最高登録者の規模で開催された。

23日大阪ドームでの開会式には日本人約3万6千人を含め、世界中から約4万7千人のロータリアンが参加。会場の盛況は壮観の一言に尽きる。金剛流の能で幕を開け、千玄室大会委員長が開会宣言を行い、全参加者が世界の平和を祈り黙祷。開催地の代表として大阪府の太田房江知事と関淳一大阪市長の歓迎の挨拶があった。

続いてフラッグセレモニー（参加国の国旗入場）で会場は一気に盛り上がり、自国の国旗入場の時はそれぞれ拍手で迎える。特に参加者が多勢の台湾、韓国、アメリカが入場の際の声援はひととき大きい。最後に開催国日本とジョナサンB・マジリアベRI会長のナイジェリア国旗と一緒に入場すると会場は大声援に包まれた。そして全員起立して厳粛に「君が代」とナイジェリア国家斉唱の時は、参加者全員がロータリアンとして素晴らしい感動を味わった一瞬だった。そしてジョナサン会長の挨拶で開会式は終了。それぞれの催しに向かって散会した。

昨年の地区協議会で森田ガバナーが地区強調事項の1つとして、国際大会に500名で参加することを目標に掲げた。当初は昨今の厳しい状況のなか目標達成は難関と思われたが、各分区のアシスタントガバナーや各クラブの会長幹事の並々ならぬご勧誘へのご努力と会員皆様のご協力によりほぼ目標の約470名参加が実現した。

ここに心より感謝とお礼を申し上げ国際大会の報告と致します。



マジリアベRI会長



フラッグ・セレモニー



ガバナー夫妻と当地区会員

## 「会員増強」とは「組織強化」である

国際ロータリー第2840地区  
会員増強・退会防止委員長 本田 博己(前橋 RC)

会員増強どころではない？

今年度もいよいよ残りわずかになりました。一方では、3月に PETS、5月に地区協議会と次年度の活動が既に始まっています。私は、たまたま次年度の地区副幹事予定者として、この PETS と地区協議会を傍聴させていただきましたが、ちょうど1年前と似たような議論が今年もまた繰り返されているのを見て、茫然たる思いを禁じえませんでした。これは、何も傍観者の感慨ではなく、今年度の地区会員増強・退会防止委員長として、反省と無力感が頭の中を駆け巡ったからです。

「(この不況では)会員増強どころではない」とか、「会員増強しても会員の質が低下するだけだ」とか、「会員増強などしなくても皆で楽しくクラブ運営できているからそれでよい」とか言う意見は、実際毎年、地区の会合や IM などでも繰り返し聞かれる声です。「会員増強」に対して多くの方が抱く否定的感情は無理もないようにも思います。

第 2840 地区全体では、毎年様々な「会員増強」の試み(新クラブの結成、純増目標の設定、...)にも関わらず、会員減少の流れは止まっています。2000年7月には2540人の会員規模でしたが、現在は残念ながら2255人(04年5月現在)と11%以上の落ち込みとなっています。この現状を見れば、確かに「会員増強どころではない」と言いたくなるのも分かります。

「会員増強」は会員を増やすこと？

でも、本当に「会員増強」は、不要なのでしょうか。無駄なのでしょうか。皆さんが否定的に語る「会員増強」は、「会員数の増加」を意味しており、「会員増強」の実行計画といえ、会員を増やすための、職業分類表の整備や新会員勧誘・会員選考のあり方、あるいは「退会防止」等のノウハウや手続きが議論されることが、これまでは多かったように思います。しかし、「会員増強」は、単に会員数の増加、会員数の拡大を意味するだけなのでしょうか。

昨年7月の会員増強・退会防止セミナーの基調講演で、RIメンバーシップ・ゾーン・コーディネーターの渡邊 隆さん(習志野 RC)は、「会員増強を会員数の増加としてのみ捉えるのではなく、会員組織の強化の問題として考えることが必要です」と強調されました。

「会員増強」とは何か、ということについての共通の理解がないままに、会員の減少が大変だから、会員数を増やすよう頑張りましょう、と言うだけでは問題は解決しません。

近年 RI が「会員増強」を声高に言い募らなければならなくなった背景、現在のロータリーが抱える本質的な問題、そして各クラブ固有の問題にはたどり着けません。

それでは、「会員増強」とは何でしょうか。そして「会員増強」が他人事ではなく、クラブと私たち会員にとって重要問題であるのはなぜなのでしょう？

「会員増強」の訳語をめぐって

「会員増強」が「会員数の増加」という意味でしか使われていないのは、どうやら「会員増強」という訳語の使われ方に混乱があるからのようです。

「会員増強」は‘Membership Development’の訳語で、このテーマを扱う委員会も「会員増強委員会」「Membership Development Committee」と呼ばれています。

『手続要覧』(2001)の「会員増強」に関連した記述(14~15ページ、285ページ)を英語版と照合してみると、原文では‘Membership Growth and Development’という表現に見られるように、量的な増大(Growth)と質的な成長・進化・発展(Development)という意味に言葉を使い分けているのが分かります。

ところが、日本語版では、「会員数の増加」と訳すべき‘Growth’や‘Increase’の多くも「会員増強」と訳されているので、‘Membership Development’という言葉に込められた、‘会員(組織)の質的発展’というニュアンスが伝わらず、「会員増強」=「数の拡大」と誤読(?)されるのではないのでしょうか。

注意深く原文を追って見れば、「会員増強」(Membership Development)とは、「会員の質の低下につながらない健全な会員増を達成できるよう、クラブ組織を充実・強化すること」を意味しているのは明らかです。

1992年以前の『手続要覧』では、このテーマは、「外部拡大」と対で使用される「内部拡大」(Internal Extension, or Extension Within the Club)というタイトルで解説されていました。「内部拡大」(Internal Extension)から「会員増強」(Membership Development)にタイトルが変わったときに、「会員増強」の真意について、より深く議論する必要があったのではないのでしょうか。

『手続要覧』の中で、「会員増強」と訳したため文意が正確に伝わらない例は他の箇所でも見られますが、紙数の関係で省略します。

「会員増強」とは何か

さて、この一文では訳語の問題点を指摘するため、「会員増強」とかぎ括弧で括って示していますが、‘Membership Development’の訳語としての「会員増強」とは何か、整理しておきましょう。この「会員増強」という言葉には、三つの意味がこめられていると考えられます。

一つは、「クラブ組織の強化」です。ロータリークラブに完成という状態はありません。ロータリーの奉仕の理想を効果的に実践するために、クラブは組織として絶えず成長してゆかなければなりません。数の拡大は即成長ではありません。拡大が成長であるのは、組織能力が高まる時だけです。ロータリークラブでいえば、効果的なクラブになることです。会員数が増えたことが、本当に成長しているのか、単に肥大化しているにすぎないのか、見極める必要があります。もし、新会員の勧誘や新クラブの結成が、数を増やすことだけを目的にし、組織の強化につながらなければ、それは「会員増強」とは言えないのです。

二つめの意味は、「会員一人一人の資質・能力の開発」ということです。クラブに完成がないのと同様、ロータリアンにも完成はありません。組織の成長・発展は、その組織のメンバー一人一人の成長・発展に支えられています。「入りて学び、出でて奉仕せよ」というスローガンに示されているように、学びの場としてのクラブで、メンバーは、その個性と能力を十全に発揮する機会が与えられなければなりません。「退会防止」というテーマも、そういう観点からの見直しが必要でしょう。

最後に三つめが、「(増強)活動の結果としての会員数の増大」となります。数の拡大＝「会員増強」ではない、という今までの議論とは一見逆のようですが、実は会員数の増大(拡大)は、国際ロータリーの目的の一つであることは間違いありません。ロータリー理念の普及という使命から、数の拡大は必然的に出てきます。しかし、クラブレベルでは、数の拡大を追求する前に、それを可能にするような組織(の総合)力を創り上げることの方が重要です。様々な具体的「増強」活動の結果が「会員数の増大」になる、と考えるべきでしょう。

会員数増大の公式？

『手続要覧』の語彙解説「会員増強」の項(『要覧』285ページ)に、私が「会員数増大の公式」と呼んでいる式が示されています。

《勧誘活動 + 退会防止 + 新クラブ結成 = 会員の増大》 これは、英語版では‘recruitment + retention + new clubs = membership growth’ となっており、まさに会員数(量)の増大を示しています。本来、この公式の右辺「会員の増大」は左辺の活動の結果を示しており、左辺の活動の内容次第なのですが、右辺を強調し単純に目的化してしまっているのが最近の傾向です。

この公式を「会員組織の強化・充実」(Development)の公式に置き換えて見ましょう。《新会員の勧誘 + 現会員の退会防止(+新クラブの結成) = 「会員増強」》‘recruitment + retention(+ new clubs) = membership development’

右辺を変えたのですが、この公式では、左辺の「新会員の勧誘」や「現会員の退会防止」の中身が問われます。活動をやっているというだけではなく、その活動が本当に会員

組織を強化・充実することにつながっているかが問われているのです。（「新クラブの結成」を括弧に入れているのは、総じて当地区では、残念ながら親クラブが弱体化することなく新クラブを結成できる現状ではないと考えるからです。）

結局「会員増強」は何のためか

「会員増強」とは「会員組織の強化・充実」であるという共通認識が得られれば、「会員増強」が RI や地区からの押しつけ（目標）でも、自分たちには関係ないことでもなく、むしろ、自クラブの成長・発展の基盤であることが理解されます。

それでは、結局「会員増強」は何のためなのでしょう。なぜ近年、RI は「会員増強」をことさら強調するのでしょうか。

近年、ロータリー全体の会員数減少（特に米国と日本で著しい）が大問題となっていますが、これは「ロータリーの危機」の結果、ロータリー理念（奉仕の理想）に対する無理解や会員組織の硬直化・弱体化によってロータリーの魅力が失われた結果なのです。量的減少ではなく質の低下が「危機」なのだと考えなければ、21 世紀のロータリーの真の発展は望めません。

質の向上を含意した意味での「会員増強」は、結局ロータリアン一人一人の「奉仕の理想」の実践活動なのです。

「ロータリーの目的の本質は、個人による奉仕の理想の実践という責任の受諾にある。...この責任の中には、...ロータリーの拡大に助力するという義務も含まれている」（『章典』5.090.3、『要覧』15 ページ）

魅力あるロータリークラブづくりを

「会員増強」の意味・目的が了解されれば、不毛な会員増強是非論が繰り返されることもなくなるでしょう。「会員増強」は、会員組織の強化・充実を図るための具体的な行動をクラブのメンバー一人一人に求めます。議論ではなく、ロータリーの魅力再生とクラブ活性化のための実践が今必要なのだと思います。

今年度の地区会員増強・退会防止委員会では、各クラブが自クラブの現状や固有の問題を正確に把握し、本質的な問題解決に着手できるよう、『会員満足度アンケート』『クラブ活力テスト』という 2 種類の支援ツールを開発し、各クラブに提供しています。このツールを活用し成果を挙げているクラブも出てきました。

「会員増強」は、「会員増強委員会」だけに任せておけば済む問題ではなく、クラブ全体で、しかも年度を越えて継続的・長期的に取り組むべきクラブの重要課題です。「会員増強」の実践、即ち、魅力あるクラブづくりに向けてのクラブ改革の動きが当地区で一層進展することを心から願っています。

1 年間ご協力ありがとうございました。



橋本 実  
前橋ロータリークラブ  
入会日:2004年4月13日  
職業分類:軽合金鋳物製造  
勤務先:前橋橋本会社  
役職:代表取締役社長  
推薦者:前田勇

奥野 和義  
前橋ロータリークラブ  
入会日:2004年4月13日  
職業分類:石材業  
勤務先:(有)奥野石材  
役職:副社長  
推薦者:荒木肇

北村 数洋  
桐生赤城ロータリークラブ  
入会日:2004年4月3日  
職業分類:電器器具販売  
勤務先:JIA ト 物産  
役職:代表  
推薦者:尾花靖雄

市川 友英  
高崎南ロータリークラブ  
入会日:2004年5月11日  
職業分類:旅行斡旋  
勤務先:株式会社エイベー 高崎支店  
役職:支店長  
推薦者:山口正敏 佐藤修

松本 勲  
富岡中央ロータリークラブ  
入会日:2004年1月22日  
職業分類:食料品製造  
勤務先:(有)マツト産業  
役職:代表取締役  
推薦者:大島雅彰

\*\*\*\*\*

Spouse 通信 vol.4



ガバナー配偶者 森田 光子

大阪国際大会見聞記

ロータリアンの配偶者として初めて出席した国際大会が、26年振りに日本で開催された今回の大阪国際大会であった、という方は私の外にも数多くいらっしゃったことと思います。大阪に向かう道中あるいは大阪市内、会場周辺で、ロータリアンのみならず配偶者の皆さんにもたくさんお会いし、とても嬉しく思いました。

開会式で、あの広い大阪ドームが、世界中から集まったロータリアンで埋め尽くされた様はまさに圧巻でした。国際ロータリーに参加している国や地域の国旗の数にも改めて驚かされました。

各地域に根ざした活動を展開している一つのロータリークラブが、一方では世界中に広がる国際ロータリーの一員でもあるのですね。

私が抱く国際ロータリーのイメージは、ロータリーマークの付いた「どこでもドア」(ご存じない方、すみません。ドラえもんの道具のひとつです)の、世界的なネットワークという感じなのですが、結構的を得たものではないでしょうか。

そして、皆さんが世界のどこかにある別の「どこでもドア」を開くとき、または誰かが皆さんのクラブのドアを開くとき、やはり配偶者も一緒にその場に参加していて欲しいと思います。

そんなことを考えながら、国際大会の雰囲気を楽しませていただきました。

\*\*\*\*\*

～文庫通信～

文庫通信(200号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会「シンホ・シウム・ハ・ネルテ・イスカッション」から

- 「教育」藤川享胤(コーディネーター) 2003 8p(D.2560)
- 「ふる里の水をきれいにするために」永幡幸司(コーディネーター) (D.2530) 2003 11p
- 「2025年 日本は?世界は?」中山太郎(コーディネーター) [2003] (D.2520) 19p
- 「韓日間の親善を図るための課題」朴鉉奎<D.3640PG> [2003] 2p (D.2810)
- 「日韓ロータリーの現状と将来」菅原周一<D.2810PG> [2003] 2p (D.2810)
- 「韓日間の親善を図るための課題」菅野多利雄 <元RI理事> [2003] 1p (D.2810)
- 「過去の山頂は将来の丘」豊島徳三(モデレーター) 2004 6p (D.2760)
- 「壊れてきた日本-ロータリーは教育問題にどう取り組むか-」青山貫禪(コーディネーター) 2004 23p (D.2630)
- 「心の危機を考える」小林正信 2004 15p (D.2600)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3abc 会館7階 TEL:03-3433-6456 FAX:03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

# 第2840地区 2004年4月出席報告

クラブ数	会員数				
	月初	4月末日	純増減会員数	女性会員数	当月平均出席率
47	2,252	2,255	3	64	86.86

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数				クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			月初	月末	増減	女性				月初	月末	増減	女性		
第1分区	前橋	4	94.74	103	105	2	3	第4分区	太田	4	84.92	94	93	-1	0
	前橋西	4	99.26	68	68	0	2		館林	5	87.06	58	58	0	0
	前橋東	4	91.40	70	70	0	0		大泉	4	82.65	55	55	0	1
	前橋北	5	88.43	56	56	0	3		太田西	4	82.54	38	38	0	1
	前橋南	4	89.11	39	39	0	0		太田南	4	96.08	47	47	0	0
	前橋中央	4	94.59	38	38	0	6		館林西	3	84.09	24	24	0	0
	合計(6クラブ)		92.92	374	376	2	14		新田	4	91.48	40	40	0	1
第2分区	桐生	4	81.86	64	63	-1	0	館林東	4	87.50	32	32	0	1	
	伊勢崎	3	93.99	68	68	0	0	太田中央	4	80.92	38	38	0	2	
	桐生南	4	79.93	49	49	0	3	館林メモリアル	4	81.24	28	28	0	0	
	群馬境	4	84.50	46	46	0	3	合計(10クラブ)		85.85	454	453	-1	6	
	桐生西	4	87.26	65	65	0	1	第5分区	渋川	4	91.70	71	70	-1	2
	伊勢崎中央	4	86.29	63	65	2	1		沼田	4	83.03	56	56	0	0
	伊勢崎南	3	85.71	42	42	0	1		草津	4	79.03	26	27	1	2
桐生中央	4	75.71	38	38	0	5	水上		4	95.00	8	8	0	0	
伊勢崎東	4	97.79	33	34	1	1	中之条		4	78.54	28	28	0	1	
桐生赤城	4	93.46	41	42	1	2	沼田中央		4	91.20	57	58	1	0	
合計(10クラブ)		86.65	509	512	3	17	渋川みどり		4	86.81	40	40	0	2	
第3分区	高崎	4	79.28	74	73	-1	0	合計(7クラブ)		86.47	286	287	1	7	
	高崎南	4	95.89	68	68	0	3	第6分区	富岡	4	90.00	57	57	0	3
	高崎北	4	83.17	59	59	0	0		藤岡	5	91.84	52	52	0	2
	高崎東	4	99.33	54	54	0	0		安中	4	81.82	33	33	0	0
	高崎ソフオー	4	85.22	48	48	0	3		藤岡北	4	74.99	21	21	0	2
	高崎セントラル	4	72.22	40	40	0	0		富岡中央	5	95.42	39	39	0	1
	合計(6クラブ)		85.85	343	342	-1	6		碓氷安中	4	75.93	27	26	-1	3
							藤岡南		4	86.46	29	29	0	4	
							富岡かぶら	4	83.04	28	28	0	0		
							合計(8クラブ)		84.94	286	285	-1	15		

## 行事予定

### 6月の行事予定

- 6月5日 1年交換学生終了式・感謝状贈呈式
- 6月6日 国際親善奨学生オリエンテーション
- 6月12日 伊勢崎東RC10周年記念式典
- 6月12日 こども奉仕体験作文コンクール表彰式
- 6月12日 新旧合同引き継ぎ会
- 6月13日 米山学友会
- 6月19日 社会奉仕講演会
- 6月26日 第3回地区諮問委員会
- 6月26日 諮問委員・AG・大委員長合同会議

6月のロータリーレートは  
1ドル 112円 です